

農地相談チェックリスト

現地に行き、就農候補地の栽培環境がどんなところかチェックしましょう！

●現地で確認すること

【気 候】

- ☐ 気象条件（作物に向いているか）。
- ☐ 日当り（日照時間）。
- ☐ 降雨・降雪の時の状況（水はけはよいか）。
- ☐ 風の強さ（風の通り道になっていないか）。

【耕作地の状況について】

- ☐ 圃場整備がしてあるか。
- ☐ 耕作地がまとまっているか。
- ☐ 資材を置く場所があるか。
- ☐ 耕作地に駐車スペースが取れるか。
- ☐ 賃借なら、ハウス設置の許可を得ることができるか。

【土性の状況】

- ☐ 地主の許可が取れたら、1m掘って地下水位を確認。
- ☐ 壤土（鉛筆くらいの棒が作れる）。
- ☐ 排水性がよいか。
- ☐ 産廃が埋められていないか。

【水の利用について】

- ☐ 井戸があるか。
- ☐ 水路が近くにあり、利用可能か。

【利便性について】

- ☐ 一般道路への接道が近くにあるか。
- ☐ 耕作地が、家屋又は作業場から近くにあるか。

【観光農園の経営を考えている】

- ☐ 取得予定地は、建築制限がない地域か。
- ☐ 近隣住民に配慮した観光農園が実現出来そうか。

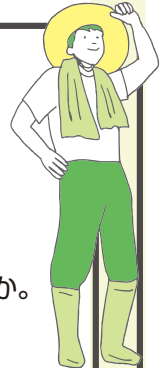
●地主・家主に確認すること

【家屋の状況】

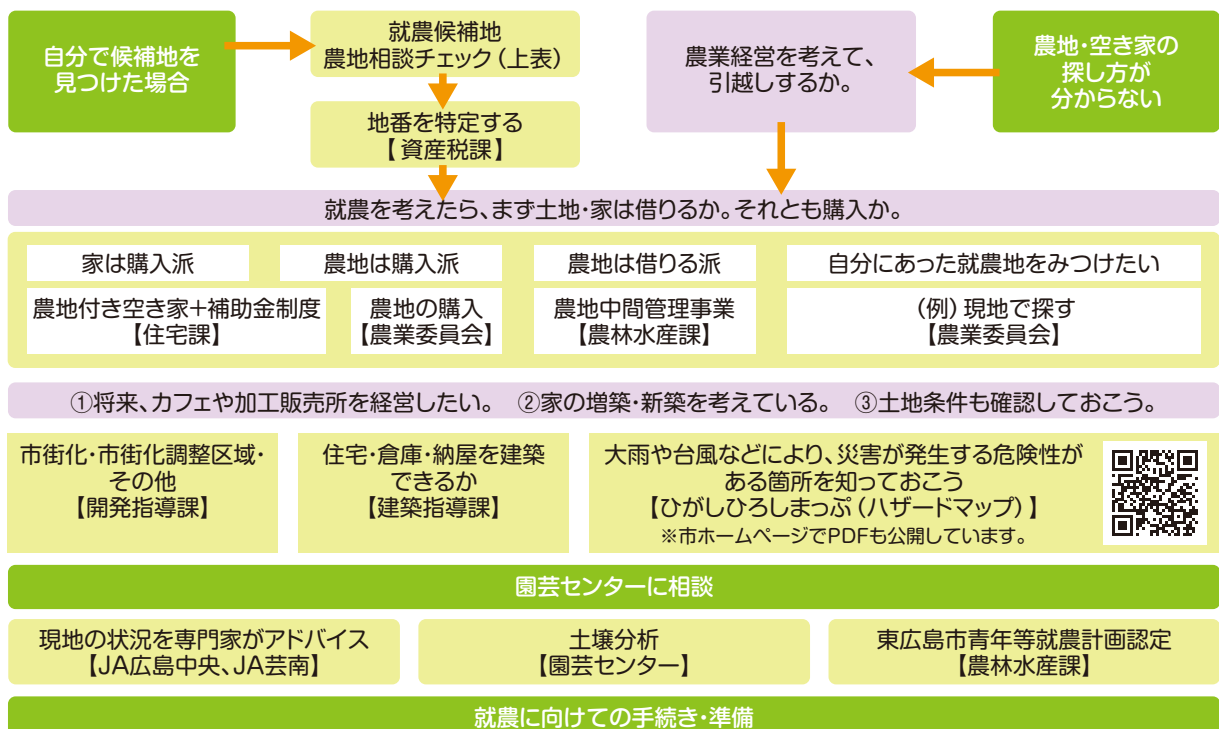
- ☐ 電気・ガス・水道がすぐ利用できる状況か。
- ☐ すぐ居住できるよう修繕済みか、修繕が必要なら費用の見積もりがあるか。
- ☐ 購入価格又は賃貸料が設定してあるか。

●市役所等で確認してみよう

- ☐ 地主から示された耕作地を、地番参考図で確認したか。
- ☐ 就農予定地が、市街化区域又は中山間地域か分かるか（建物制限区域あり）。
- ☐ ハザードマップの危険地域ではないか。



就農に向けて



園芸センター講座開催中 多様な担い手の育成

野菜生産講座

令和4年度は4月から13名が月1回のペースで参加して、4回講座がありました。

講習は、夏野菜、抑制きゅうりの栽培と管理をしました。

講義は、肥料、病害虫防除について行ないました。

※次回の募集は、東広島市広報令和5年3月号で予定しています。



花き生産講座

花き生産講座は、2年間学びます。今年は、2年生が4名、春から秋にはトルコギキョウの栽培技術を学んでいます。東広島市は、県内でも有数のトルコギキョウの産地です。

講座終了後も、参加者同士の交流が20年以上も続き、グループが結成されています。

※次回の募集は、東広島市広報10月号で予定しています。



果樹生産講座

実習品目はブドウ・モモ・カキです。4月から10名が参加してスタートして、6回講座がありました。

ブドウは、芽かき、誘引作業、ジベレリン処理、摘粒、袋かけが終わり、来月は、いよいよ収穫です。

西条柿は、摘蕾、新梢誘引管理、摘花、摘果が終わり、10月収穫の予定です。

モモは、摘果を行いました。

※次回の募集は、東広島市広報令和5年3月号で予定しています。



園芸日曜講座

4月から22名が参加してスタートして、4回講座がありました。

ゴールデンウィーク頃に植える夏野菜の苗の選び方、水のやり方、肥料の使い方、病害虫の見分け方や防ぎ方など、初心者の方に園芸の楽しさをわかってもらう講座をしています。

※次回の募集は、東広島市広報令和5年3月号で予定しています。



職場体験学習

志和中学校2年生

東広島市園芸センターで、7月5日から7日の3日間、9時から15時まで志和中学校2年生の3人が体験学習を行いました。最高気温32度、ハウス内温度40度の中、たくさん汗をかきながら、指導員の話真剣な表情で聞いて、ハウスの真っ赤に完熟したトマトを籠いっぱい収穫。また、冠婚葬祭に使われるトルコギキョウの出荷のための収穫作業と、シャインマスカットを商品にするために、大きくなった余分な房を大胆にプツンと切り捨てる作業（摘房）を行ないました。その後、産直市に商品として店先に並べました。



体験学習に来た志和中学校の（左から）岡本優芽さん、堀田瑞歩さん、竹本悠馬さん

令和4年度ブドウ栽培セミナー開催しました

7月29日園芸センターにて、市内でブドウを栽培・出荷しているブドウ農家62人が参加して栽培セミナーを開催。

講師は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構安芸津ブドウ・カキ研究拠点果樹茶業研究部門果樹品種育成研究領域落葉果樹品種育成グループ 博士（工学）清水健雄様をお招きして、栽培のポイントのアドバイスをいただきました。

グロースクローネは、夏季の気温が高い西南暖地においても着色良好な極大粒の新品種です。

園芸センターでは、この3品種を含め6品種を試験栽培しております。

見学を希望される方は、事務所へご連絡ください。電話082(433)4411。

東広島で生まれた品種



シャインマスカット クイーンニーナ グロースクローネ
(写真提供) 農研機構

高垣市長とおしゃべりカフェを開催しました

8月4日、東広島イノベーションラボ ミライノ+で「高垣市長とのおしゃべりカフェ」を開催。農業に携わる8人が参加し、「若手農業者と語る農業の未来」をテーマに意見交換をしました。

高垣廣徳市長と「農産物のブランディング・高付加価値化」「チャレンジしてみたい取り組み」などについて語り合いました。

志和町のすざわ果樹園代表須澤勝己さんは、「見た目・美味しいは当たり前。すざわ果樹園の商品は贈り物がメインなので、いいものをもらったと思えるよう商品の特長をSNSで発信。ブランディングには気を配っています。」と語られました。



高垣市長（前列中央）と参加者

園芸センターを活用しよう!!

新規就農者育成研修生募集

最近、新たに農業を始めたという人が増えていきます。「農地を買ったから、なんとかやるでしょ?」「家庭菜園で野菜できたから、仕事辞めて農家になりましょ」などの考えで就農すると大変なことになるります。

■今までの相談者

実際、農業をやってみたいと相談に来られてから、何をすればよいのか、栽培技術はとうやって習得するのか、農地はどうするのかなど、たくさんの方の課題を知ることになります。

東広島市園芸センターでは、職業として農業を始めるために、随時相談を受け付けています。

■募集開始

8月1日(月)からは、令和5年度新規就農研修生を募集します。

■研修促進

自営就農する前に、生産技術、経営管理など実践的に学ぶことができる東広島市園芸センターで研修を受講してから農業経営を始めませんか。

1 目標とする農業者

農業経営基盤強化法に基づく認定新規就農者(農業所得250万円)及び認定農業者(農業所得5

00万円)

2 対象年齢

令和5(2023)年4月1日現在、18歳以上45歳未満の人

3 研修期間

令和5年4月1日から令和7年3月31日(2年間)

4 研修場所

東広島市園芸センター

5 研修内容

(1)野菜、花きの栽培技術や経営について学習

(2)先進農家や市場へ視察、農家へ派遣研修等

6 募集期間

(1)令和4年12月16日(金)必着

(2)受付時間/8時30分から17時15分まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く)

7 申請手続

申請用紙の請求/申請用紙は、東広島市園芸セ

ンターへ請求してください。東広島市のホームページからダウンロードすることもできます。

書類及び面接により、審査を行います。なお、研修許可者は、所定の項目について受検した健康診断書の提出が必要となります。

9 その他

農業経験がない方は、研修開始までに園芸センターが主催する短期農業体験を受講することが必要です。



東広島市園芸センターのホームページ



お知らせ

絵本の紹介

子どもたちに「食」の大切さを教え、「農業」に興味を持ってもらえる絵本です。

東広島市の農家さんが携わっており、絵本を読みながら、畑や田んぼを旅して種を育てるものがあります。ぜひ、読んでみてください。



「志和アグリ図書館」オープン

7月12日(火)から志和町にある市園芸センター内に農業分野に特化した「志和アグリ図書館」を新設しました。



農業関係の本(熟練者向け)や初心者向け(など)を約1000冊常設し

平日9時~16時30分の時間帯は本を自由に閲覧できます。毎月第2、第4火曜日の10時~13時の時間帯は図書館スタッフが来館し、貸出等のサービスを実施します。詳細は市立図書館のHPをご覧ください。

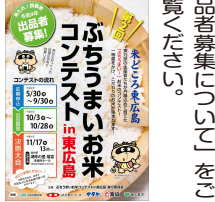
農業関係の本(熟練者向け)や初心者向け(など)を約1000冊常設し、平日9時~16時30分の時間帯は本を自由に閲覧できます。毎月第2、第4火曜日の10時~13時の時間帯は図書館スタッフが来館し、貸出等のサービスを実施します。詳細は市立図書館のHPをご覧ください。

第2回ぶちうまいお米コンテストin東広島出品者募集

2021年に初めて開催の「ぶちうまいお米コンテストin東広島」ですが、好評につき今年も開催します。

昨年は104件のご応募をいただき、2度にわたる予備審査を勝ち抜いた10のお米がコンテスト会場で審査されました。

今年もたくさんのご応募をお待ちしております。詳細は市のHP内の「第2回ぶちうまいお米コンテストin東広島」の出品者募集についてをご覧ください。



イベント

「農業×福祉」のコラボレーションによる「フクマルシェ」を開催しています。



6月8日に行われた「フクマルシェ(写真・プレスネット提供)」

市内障害者支援事業所の障害者が生産に携わった新鮮な野菜を中心に、お届けている素敵なマルシェになっています。また、商品のラインナップも毎回季節に応じて変化していきます。

開催日は9月7日、10月6日、11月2日、11月29日、12月20日、1月12日、2月8日、3月2日です。市役所本館2階、市民協働スペースで行います。時間は11時~14時。駐車場は1時間無料。お気軽にご来ください。

※開催日、時間、場所について、感染防止及び天候等により変更となる場合があります。

農福連携する農家さん募集

東広島市では農福連携推進事業に取り組んでおり、県内の自治体では初となる補助金制度など実

施しています。この取り組みは農林水産省をはじめ全国的に推進する機運が高まっており、本市も補助金の他、農業者と障害者支援事業所のマッチングを行っているところ

です。今回は市内の認定農業者から依頼のあった農作業の一面面を切り取ってご紹介させていただきます。

この写真は5月の晴天の下で行われた田植えの一面面です。

「障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において新たな働き手の確保につながる可能性もあります」

農福連携事業は農業及び福祉双方にとって有益な事業となっております。また、作業等を契約された認定農業者等は市からの補助金があります。ぜひ一度お尋ねください。

作業をされている双方から事業によるマッチングで農作業に取り組みの際のコメントをいただきました。



事業所の利用者は「継続的に農業に携わり農家さんから指導を受けることで働き甲斐や達成感を感じられました。当日は気候も良くおいしい空気の中で、体力に差し障り無く作業に取り組むことができました」。

農業者からは「この農福連携が無ければ現在の営業は成り立たないで、今後も継続していきたい」「高齢に伴い作業員の確保に苦慮していたが効率的に進めることができた」。等のご意見が伺えました。

農林水産省も次のように声明を出しています。「障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において新たな働き手の確保につながる可能性もあります」

農福連携事業は農業及び福祉双方にとって有益な事業となっております。また、作業等を契約された認定農業者等は市からの補助金があります。ぜひ一度お尋ねください。

障害福祉課農福連携推進事業/電話082(420)0180

農林水産課/電話082(420)0939

82(420)0939